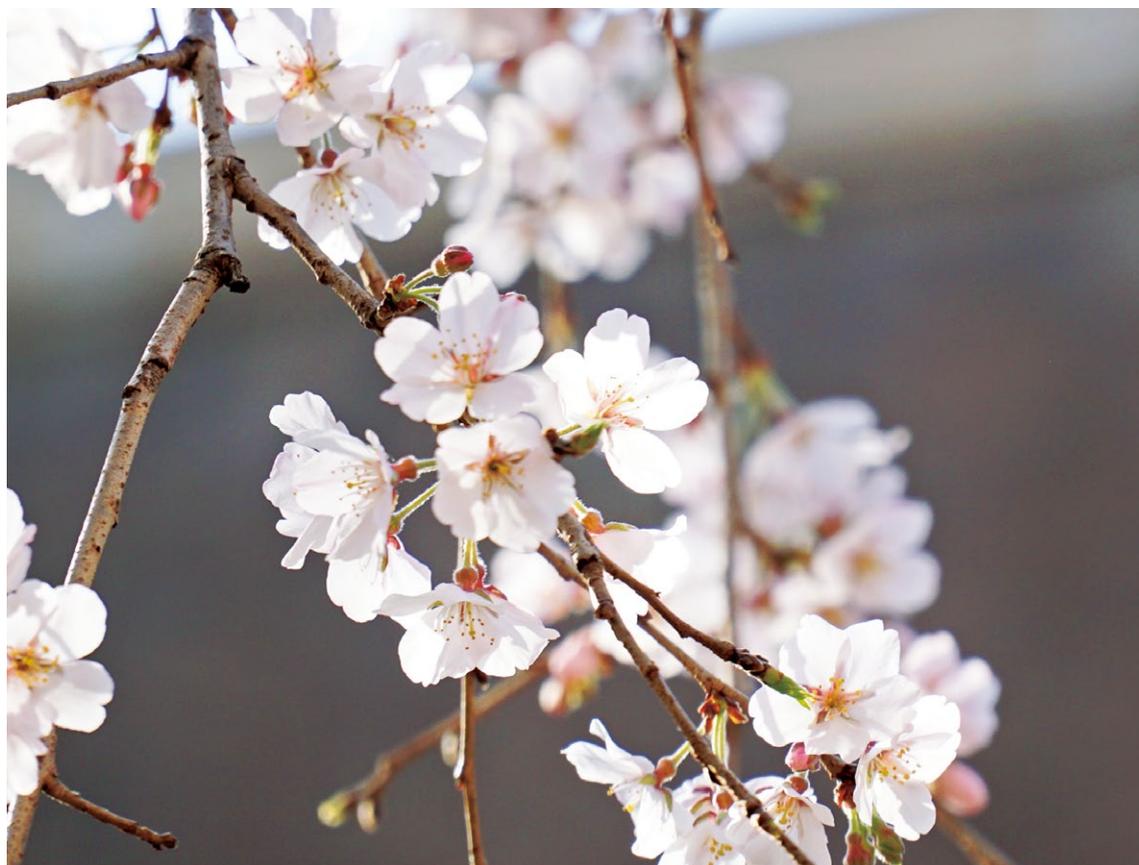


OCHADAI GAZETTE

お茶の水女子大学学报 第267号 2021年4月2日

OCHADAI GAZETTE April, 2021



その扉をあけませんか？

CONTENTS

学長からのメッセージ 1-2	キャンパス点描 7-8
● その扉をあけませんか？	● JICA課題別研修「乳幼児ケアと就学前教育（アフリカ・中東）」を実施しました
特色ある取り組み 3-4	● 令和2年度 奨学金受与式を開催しました
● 男女共同参画社会の実現を目指して	● 令和2年度 科学研究費助成事業の配分においてお茶の水女子大学がランキング上位へ
附属学校園からのお知らせ 5-6	● 「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」に採択されました
	メディア報道記録 9-10



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

学長からのメッセージ

本学は、江戸から明治に改元されて間もなくの1875年に日本で初めての女性のための高等教育機関「東京女子師範学校」として創設されました。その後、女子高等師範学校、東京女子高等師範学校と名称を変え、1949年に新制のお茶の水女子大学となりました。2004年には、現在の国立大学法人お茶の水女子大学となり、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する。」というミッションを掲げ、国籍や年齢を問わず学ぶ意欲のあるすべての女性たちの成長と資質や能力の開発のための支援をしてきました。

昨年、本学は創立145周年を迎えましたが、145年の歴史は、アメリカ東海岸のセブンスターズと言われる女子カレッジであるマウントホリヨークカレッジ、スミスカレッジ、ウェルズリーカレッジ、バーナードカレッジ、プリンマーカレッジ、イギリスのケンブリッジ大学の女子カレッジであるニューナムカレッジとほぼ同じ長さです。これらの大学は、まだ女性に参政権も認められていない時代に、女性のための高等教育の必要性が強く訴えられて誕生して以降、使命感と実行力で教育、研究、政治、経済など様々な分野で活躍する女性たちを育てました。

本学に例を取れば、生涯を女子教育の向上に尽くされた、女子高等師範学校卒業生である安井てつ先生は、イギリス留学の後、タイ初の女子教育専門学校であるバンコク府皇后女学校 (Rajini Girls School) の設立に関われ、教育主任とし

て3年にわたりタイの女子教育の発展に尽力されました。タイでの任務を終え、イギリスで二度目の留学を経て帰国の後は、東京女子大学の創立に参画され、新渡戸稲造の跡を継ぎ東京女子大学の第2代学長とされました。また、1923年にはマウントホリヨークカレッジから名誉博士号を授与されました。

他にもシカゴ大学、ハーバード大学に留学され日本初の女性心理学博士とされた保井コノ博士、日本初の女子帝大生で英国オックスフォード大学に留学された黒田チカ博士、日本女性初の農学博士とされた辻村みちよ博士、日本初の女性原子核物理学者で長くフランスで活躍された湯浅年子博士、日本初の女性医師とされた荻野吟子氏、日本における女子体育を広め日本女子体育大学を創設された二階堂トクヨ氏など、日本だけでなく海外にも活動の場を広げ活躍した多くの女性たちが育ったのです。

明治32年(1899年)に公布された高等女学校令では、「賢母良妻タラシムルノ素養ヲ為スニ在リ、故ニ優美高尚ノ気風、温良貞淑ノ資性ヲ涵養スルト俱ニ中人以上ノ生活ニ必須ナル学術技芸ヲ知得セシメンコトヲ要ス。」とあり、高等女学校は、「良妻賢母」を育てることが目的とされ、女子の高等教育は中流以上の社会の女子を教育することであったことがわかります。当時の多くの日本の女子高等教育機関がアメリカの女子カレッジと同様にキリスト教系の女学校であったのに対し、

その扉を

あけませんか？

如上的ような使命を帯びて、唯一官立の教育機関として創設された本学から様々な分野で、しかも世界で活躍し、日本に新しい風を吹かせた女性たちが生まれることを誰が想像していたでしょう。明治から大正にかけての日本の女子教育の多数の学び舎の一つの規範とされていた本学から、その枠を超えて近代女性史に輝かしい足跡を残し、新しい挑戦に踏み出す勇気、他の人のために働く優しさを持ち、忍耐強く努力を重ねることのできる女性たちが育っていったのです。

草創期だけでなく現在まで、本学の卒業生は、教育、研究の分野に限らず、企業の管理職に就いて国際的な活躍をしたり、自ら起業をしたりと様々な分野での活躍が見られます。近年は今まで以上に、女性の社会的活躍が必要とされ、豊かな専門知識をもち、グローバルな視点からリーダーシップを発揮する女性が求められています。しかし、女性が社会で活躍することは当然のことと受け止められるようになってきたとはいえ、実際には文化的、制度的制約があり、十分な女性の活躍が見られるとは言えません。

大学はつねに社会とともにあり、社会の要請に応える姿勢が求められます。本学では、ジェンダー研究所とグローバルリーダーシップ研究所から構成されるグローバル女性リーダー育成研究機構を中心として、先端的な研究を行うとともに男女共同参画社会の実現、グローバル化する社会で活躍する女

性リーダーの育成に努めて参りました。また、理工系分野における女性の活躍が求められる社会的要請に応じて、文理融合リベラルアーツ教育、AI・データサイエンス教育などにも力を入れていきます。

しかし、これらはみな、学生の皆さんに乗り越えていってもらうための枠組みに過ぎないのです。日本の女性は控えめに出ることを好まないと言われるますが、本学で学ぶ学生の皆さんには、本学の自由で一人ひとりの可能性を尊重する学風の中で高い専門的知識、一歩前に出る勇気、そして他者とともに協働する力を身に着けて、多くの先輩たちのように、自分の信じる道を力強く歩み、社会をけん引する人材に育っていただきたいと願っています。

その扉をあけませんか?その扉はあなたがあけるのを待っています。過去を未来に、そしてあなたをリーダーへとつなぐ入口です。さあ、扉をあけましょう。

2021年4月 お茶の水女子大学長
佐々木 泰子

男女共同参画社会の実現を目指して

2021年3月3日に朝日新聞社と共同で「121位の私たち ジェンダー格差をどう変える」を開催しました。2019年12月、世界経済フォーラムが発表した「男女格差（ジェンダーギャップ）報告書」で日本は153カ国中121位と過去最低の順位となりました。昨年度、3月8日の国際女性デーを前に、本学での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく延期となり、ちょうど1年後に無観客のオンラインにより開催することとなりました。北海道から沖縄、また海外からの申込み者を含め1000名を超える方にご参加いただき、事前にたくさんのご質問、ご意見が寄せられたことからみなさまの関心の高さが窺えました。

が窺えました。

シンポジウムでは、町田智子朝日新聞社上席執行役員女性プロジェクト担当からの開会のあいさつに続き、ニューヨーク・タイムズ ジェンダーイニシアティブディレクターのフランチェスカ・ドナーさんと初代ジェンダーエディターのジェシカ・ベネットさんのインタビュービデオが放映され、おふたりから視聴者の方、とりわけ日本の女性たちに「イツオクケー（大丈夫）。完璧である必要はないのです。平均したらほとんどの場合、けっこうよくできている、それでいいのです。」「燃え尽きないで。完璧でなくていいのです。自分に休憩を与えましょう。」とのメッセージが送られました。

121位の
私たち

ジェンダー格差

をどう変える



後半は、#KuToo運動呼びかけ人で俳優の石川優実さん、スリール株式会社代表取締役の堀江敦子さん、ニューヨーク・タイムズ東京支局長のリッチ素子さん、室伏きみ子本学前学長から各者の専門、視点によるジェンダー格差の問題点等が報告され、その後、視聴者からもっとも多く寄せられたご質問である「具体的に、今何をしたらよいか」についてディスカッションが行われ、声をあげることは大切であるが、それはとても勇気がいることなので、声をあげた人に賛同する場合はまず「応援している」ということを発信する、声をあげた人を応援することなら今すぐにはできないかななどの提案がなされました。

ディスカッションの最後にパネリストから視聴者の方へ、「ひとりの声だと文句ととられがちですが、多く声を集めることで変化を起こせるのです。声をあげることを恐れないで。」「自分をいたわることが大切。そ



の結果、声をあげることができるようになるのです。」「自分らしい生き方、キャリアを描きたい人は多いはず。プライベートでの行事（出産、育児、介護等）を経てもキャリアアップできる環境は、女性の活躍とともに男性を解放することにもつながるのです。」「第5次男女共同参画基本計画はとてもしばらしいものなのでぜひ読んでください。そして自分のやりたいことを考えてほしいです。」とのメッセージが送られました。

閉会にあたり、室伏前学長から、「このシンポジウムではたいへん前向きな意見が出され、成果のあるものとなったと思います。今後の社会にどう活かしていくかをみんなで考え、50：50（フィフティ・フィフティ）の社会がくることを願っています。」とのあいさつがありました。

附属学校園からの お知らせ

～附属高等学校便り～



昨年の2月末に始まった突然の休校措置、そして最初の緊急事態宣言が出された頃からもう1年がたとうとしています。クラスの仲間との唐突な別れを余儀なくされ、約3か月にもわたる自宅学習をとお茶高に戻ってきた時に感じたのは、友達や先生との再会の喜びと仲間と教室で共に学ぶことの大切さでした。先生が教壇で教えてくださり、クラスメイトが周りにいるという今では決してあたりまえでない学校での学びは、自宅でひとり課題をこなしていたときの不安や焦りを溶かしてくれました。

コロナ禍における学校生活は自由が制限されたものになりました。マスクの着用や手洗いはもちろん、授業では今まで頻繁に行っていたペアワークやグループワーク、発表の場なども少なくなりましたが、意識を高く持ちながら生徒間で分からないとこ



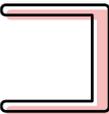
ソーシャルテスト!
混んでいる時は、
少し待つ!



Presentation

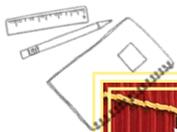


奮闘して
います!



お茶

今まで通り生活することができなくなった反面、新しく生まれたものもありました。お茶高の伝統行事である輝鏡祭(体育祭・文化祭・ダンスコンクール)がすべて中止になってしまった中で、輝鏡祭実行委員が企



画した「だいたい輝鏡祭」が実施されました。だいたい、という言葉には「代替」と「大体」の2つの意味が込められており、1・2年の各クラスがグループに分かれてクラスCM、やってみた、パフォーマンス、お笑い、芸術の映像を制作し、12月末の特別授業期間中に感染防止対策をとりながら



作品を鑑賞しました。映像編集の技術力の高さに驚かされたり、センスのよさに笑ったりとクラスの個性が見えてとても楽しい時間でした。部活や同好会も独自に映像を撮ったりいくつかの団体は舞台上で発表をしたりして、よい発表の機会となりました。また、放送委員会による昼休みの放送「お茶高ラジオ放送局 Tea

ろを教えあったり話し合ったりして、学びを深めることができたと思います。昼食時は前をむいて一人でお弁当を食べたり、清掃を一層強化したりと気をつけながら過ごしています。

—昨年度からお茶高はSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定されたため、通常の授業だけでなく探究活動も時間割に組み込まれています。1年次には課題研究基礎で講義や実験を通して科学研究の基礎を学び、2年次には課題研究Ⅰで生命科学や数理情報、社会科学、芸術など様々な分野に分かれて個人またはグループで研究を進めます。研究の仕方やレポート作成の基礎を学んだり、プレゼンで他の生徒や先生から評価を受けたりすることで思考力と表現力を磨き、高校卒業後にも生かすことのできる学びとなっていると感じています。教科の勉強や部活、自治会活動などの両立は大



変で、正直日々追い立てられるような気持ちにもなりますが、充実感や達成感で一杯です。

お茶高生の



Time]も始まり、一人でお弁当を食べる少し寂しい昼休みもくすくと笑えたり、生徒リクエストの音楽が聴けたりと和やかな時間となっています。

この1年は例年に比べて不自由で我慢を強いられた1年でしたが、その分いろいろなことについて深く考え、新しいものを生み出そうと奮闘するお茶高生のポテンシャルの高さを肌で実感する1年でもありました。依然として油断のできない日々は続きますが、2020年の経験を生かし、2021年はより充実した1年を送りたいです。

お茶の水女子大学附属高等学校2年
自治会執行部部長 吉田 慧



附属学校園からのお知らせ

キャンパス点描 2

JICA課題別研修 「乳幼児ケアと就学前教育 アフリカ・中東」を実施しました

お茶の水女子大学は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託を受け、イラク、カメルーン、シエラレオネ、マダガスカル、ルワンダ、レバノンから11名の研修員を受け入れ、2021年2月1日から2月26日まで幼児教育に関するオンライン研修を実施しました。11名の研修員はいずれも各国の幼児支援分野における行政官や視学官、指導主事など、指導的な立場の方々です。この研修は、2018～2020年度の3年計画の3年目に当たります。

国際社会においては、乳幼児期からの保護と教育を一体化させた総合的アプローチの重要性が認識され、幼児教育分野での途上国に対する支援体制が強化されてきました。しかしながら、途上国においてはECCE（early childhood care and education: 乳幼児ケアと就学前教育）分野を専門とする人材が不足している状況です。

そこで、特にECCEへのアクセスや質の改善が急務の課題となっているアフリカ・中東地域を対象に、同分野の政策レベルでの人材育成に資するために、日本の幼児教育や保育、幼児に対する支援について、その制度・政策、保育内容・保育方法、人材育成、評価などに関して、オンラインで講義を実施しました。また、研修員たちは自国の幼児教育の状況について発表し、参加者同士での意見交換も行いました。これらを通じて幼児支援に関する研修員の知識や技能を向上させることを目標にしました。

研修後のアンケートでは、研修で掲げた6つの単元目標（①所属組織での問題点の発見・整理、②ECD[Early Childhood Development]の概念・内容・動向、③幼児教育における格差問題とその是正策、④子どもの発達に応じた適切な保育内容・保育方法・教材作成、⑤教員養成・研修のシステム、⑥幼児教育における評価）についていずれも高い達成度が示され、満足度も高くないへん好評でした。研修最終日には、各研修員から研修後の活動計画が発表されました。研修員は今後、この活動計画に基づき、本研修の成果を自国で活用していくこととなります。

キャンパス点描 3

令和2年度 奨学金受与式を開催しました

2021年3月10日にコロナ禍で開催が延期となっていた令和2年度お茶の水女子大学みがかずば奨学金授与式、学部生

成績優秀者奨学金授与式、桜蔭会研究奨励賞、アバナード奨学金、KSP-SP奨学金、大学院博士後期課程研究奨励賞、錦織チサエ奨学金の授与式がオンラインで開催されました。授与式では受賞者の名前が読み上げられ、室伏前学長、一般社団法人桜蔭会会長の高崎様、後援会会長の赤坂様、アバナード株式会社COOの高田様、株式会社KSP-SP代表取締役社長の山中様からお祝いと激励の言葉がかけられました。

キャンパス点描 4

令和2年度 科学研究費 助成事業の配分においてお茶の水 女子大学がランキング上位へ

令和2年度科学研究費助成事業の配分状況について文部科学省から発表があり、全研究機関のうち、お茶の水女子大学は新規採択率が第10位（41.7%）と高い水準に躍進しました。

また、採択件数が100件以上の研究機関の中で、女性比率が第1位（59.6%、全研究機関では第7位）に輝き、女性研究者を含め、本学の研究活動に対して高い期待が寄せられていることが示されました。

キャンパス点描 5

「科学技術イノベーション 創出に向けた大学フェロシップ 創設事業」に採択されました

「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」（文部科学省）は、研究に対する意欲を有し、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる博士後期課程進学者に対して、研究専念支援金と研究費からなるフェロシップの支給と、博士後期課程修了後に安定的で研究に専念できる環境を提供できるポスト確保に取り組む大学に対し、補助金を支援するものです。

お茶の水女子大学は、大学の強みや地域の強み等を活用したイノベーションの創出等が見込まれる人文・社会科学を含む幅広い分野を提案する「ボトムアップ型」での採択となりました。

キャンパス点描

メディア報道記録 2020年度(抜粋)

※所属、職名は掲載当時のものです。

TV

- 2020年5月7日 NHK NHK高校講座「家庭総合」...

- 2020年6月17日 日本経済新聞 東大など、繊細な子どもの情緒的発達...

- 2020年7月3日 日本経済新聞 ネット授業、体制整わず「対応バラバラ」...

- 2020年8月11日 朝日新聞 「心は女性」受け入れた女子大は...

- 2020年8月12日 朝日新聞 不公平 もっと早く方針を...

- 2020年8月17日 日本経済新聞 ポピュラス、保育×経営で奮闘...

- 2020年8月20日 日刊工業新聞 リーダーを目指す理系女性へ...

- 2020年8月22日 日本経済新聞 今を語り継ぐ 経済が変える男女の...

- 2020年8月27日 日刊工業新聞 経営者と言ってお茶の水女子大...

- 2020年9月8日 朝日新聞 「マスク着用」が映し出す...

- 2020年9月10日 毎日新聞 リア・オンと交流発展願ひ...

- 2020年9月11日 科学新聞 災害に備えた お茶の水女子大...

- 2020年9月17日 日本経済新聞 どう変わった2012→2020...

- 2020年9月15日 日本経済新聞 菅新総裁に若者ら「若い世代向け政策」...

- 2020年9月16日 スポーツ報知他 ミニ・アース・ジャパン...

- 2020年9月17日 朝日新聞 福井日曜エッセイ「時の風」...

- 2020年9月18日 朝日新聞 流城風 オンライン交流会「ワケジョ」...

- 2020年9月26日 日本経済新聞 薬物の新王者はコソツナ?

- 森光 康次郎教授 / 基幹研究院 自然科学系

- 2020年9月28日 朝日新聞 女子大の教育力〜「女性が輝く社会」...

- 2020年10月2日 朝日新聞 くらしの中から考える 学校の制服

- 2020年10月2日 朝日新聞 くらしの中から考える 学校の制服

- 2020年10月21日 日本経済新聞 保育・介護に「経営」の視点...

- 2020年10月23日 朝日新聞 しんぶん堂 歴史は物語なのか?

- 2020年10月26日 日刊工業新聞 お茶の水女子大、学長に佐々木氏

- 2020年10月29日 東京新聞 若い女性の失業率4.7%

- 2020年10月30日 SankeiBiz 若年女性の失業率上昇...

- 2020年11月5日 毎日新聞 暗くならず泳ぎ停止

- 2020年11月5日 毎日新聞 暗くならず泳ぎ停止

- 2020年11月5日 高崎日新聞 2021年1月2日(火)開催

- 2020年11月12日 東京新聞 ストレスって性別で違うの?

- 2020年11月16日 福島民友新聞 「福高愛」深めて 歌歌、応援歌を現代語訳

- 2020年11月16日 朝日新聞 女性活躍推進に向けた女性首長による会議

- 2020年11月17日 毎日新聞 多士彩々環境保護への議論...

- 2020年11月27日 朝日新聞 女性活躍促進 お茶の水女子大

- 2020年11月28日 産経新聞 お茶の水女子大学 女子教育の先達として

- 2020年12月6日 DIME6月号 隈研吾氏が手がけたTOKYO建築群

- 2020年12月7日 朝日新聞 花まる先生公開授業 服作りで学ぶ倫理的消費

- 2020年12月10日 産経新聞 日本史での女性の地位下

- 2020年12月16日 朝日新聞 公立中 男女共通制服導入へ

- 2020年12月21日 毎日新聞 戦争、妄想が現実か

- 2020年12月21日 毎日新聞 戦争、妄想が現実か

- 2021年1月1日 朝日中高生新聞 SDGs「5 ジェンダー平等と実現しよう」

- 2021年1月9日 毎日新聞 なぜ遅っていた? 群馬の女学生の袴

- 2021年1月17日 朝日中高生新聞 第17回キャンパスチャーター

- 2021年1月19日 日本経済新聞 教育格差、負の連鎖止める

- 2021年1月19日 朝日新聞 数字は語る ほど遠い「均等」

- 2021年1月19日 日本経済新聞 食のイノベーションが変える社会

- 2021年1月20日 日本経済新聞 データサイエンス教育、競う大学

- 2021年1月25日 朝日新聞 くらし「スーパーイノベーション」

- 2021年2月10日 日本経済新聞 伝統と革新の京都、多様な個性に

- 2021年2月11日 毎日新聞 東洋大、穴吹悦子文芸研究センター

- 2021年2月13日 朝日新聞 輝く女性社長18回

- 2021年2月18日 読売新聞 命をみつめるエッセー

- 2021年2月19日 日本経済新聞 Data Society Fes 2020 Student

- 2021年2月23日 読売新聞 【識者談話】男女の配置固定化...

- 2020年4月16日 DIME6月号 隈研吾氏が手がけたTOKYO建築群

- 2020年5月2日 月刊読書教育 アクティブ・ラーナーの育て方

- 2020年5月18日 Current Biology Establishment of homogyous knock-out sea

- 2020年6月15日 Nature Communications 英国科学誌

- 2020年6月16日 DIME6月号 隈研吾氏が手がけたTOKYO建築群

- 2020年6月24日 文教速報 お茶大、コロナ対応理科教育を

- 2020年8月9日 日経ビジネス 幼児のかみつき、コロナ禍で増える?

- 2020年10月5日 月刊みんぱく 10月号 特集 世界の地相術

- 2020年10月19日 Scientific Reports Implications for the light-dependent distribution

- 2020年10月26日 文教ニュース お茶の水女子大 次期学長に佐々木理事

- 2020年11月25日 文教速報 秋の災害予防運動表彰を受ける

- 2020年12月21日 AERAonline 今こそ行きたい女子大受験のススメ

- 2020年12月26日 日経サイエンス AIに言葉の意味はわかるか

- 2020年1月10日 FLASH編集部 47都道府県「お茶の水女子大」

- 2020年1月18日 女性性科学 初の国家資格取得女性医師

- 2020年2月11日 東洋経済オンライン 徹夜も上等! 猛烈に働く人が成長できる

- 2020年5月19日 国立遺伝学研究所 色素を欠損したアルビノの系統作製

- 2020年8月22日 大学ジャーナルONLINE 高度な保育士育成を目指す

- 2020年9月8日 PR TIMES Tik Tok「第6回Tik Tok Japan

- 2020年9月9日 @Press 第5期ジュニア・アカデミア

- 2020年9月11日 GreenBelt 21世紀、現行の依存問題対策全般

- 2020年9月22日 AMP Tik Tok、アジア太平洋セーフティ

- 2020年10月12日 PRESIDENT ONLINE 永田町が、コロナ禍でも賑わいに

- 2020年10月19日 基礎生物学研究所 造礁サンゴの幼生が示す光応答行動

- 2020年10月20日 telling 「家庭科で学ぶデジタル サステナブルな未来」

- 2020年10月20日 女性Net 【2020年12月17日開催】

- 2020年10月23日 47NEWS 菅内閣でどうなる? 「女性活躍」

新聞

- 2020年4月1日 毎日新聞 昭和三十九年創立50周年

- 2020年4月3日 朝日新聞 こはらぼ 毎週日曜日に掲載

- 2020年4月10日 毎日新聞 「個性」を磨いた自立した女性を育成

- 2020年4月16日 日本経済新聞 伝統生かし組織力向上へ

- 2020年4月14日 読売新聞 図書館をフル活用し「こはら」を磨く

雑誌

研究表彰等受賞者一覧 2020年度(抜粋)

- 申 瑛楽教授 / ジェンダー研究所
- 2020年10月29日 PRTIMES
【教育・保育を考えるイベント案内:11/15】“こどものため”ってなんだろう? みんなで考える いわて自然×教育フォーラム in 田野畑村
浜口 順子教授 / 基幹研究院 人間科学系
 - 2020年11月2日 ロボスタ
プログラミング競技大会[PG BATTLE 2020]
お茶の水女子大学 / 競プロサークル
 - 2020年11月9日 東京都産業労働局
女性活躍推進に向けた女性首長による会議「第2回女性首長によるびじょんネットワーク」(通称:びじょネット)をオンラインで開催します!
横田 響子さん / 卒業生 / 文教育学部 教育学科
お茶の水女子大学客員准教授
株式会社コラボラボ 代表取締役
 - 2020年11月30日 telling
サステナブルパト「ふぞろい野菜、瓶に詰めたらごらそうに。自然とつながる“おいしい”の作り方」
ファームキャンピング代表・西村千恵さん
西村 千恵さん / 卒業生 附属高等学校
 - 2020年11月30日 PRTIMES
全国47都道府県の様々な「一番」を3択クイズで紹介【都道府県のクイズ図鑑 改訂版】発売
木村 真冬教授 / 附属中学校
 - 2020年12月2日 Imedia NEWS
のぞきこんだ顔が水面でドット絵に 電気分解式泡ディスプレイ「Bubble Mirror」 お茶大が開発
お茶の水女子大学
 - 2020年12月8日 PRESIDENT WOMAN Online
仕事と育児を犠牲にしないが大前提 「後援会も立ちあがりし」無名の34歳女性が3位当選を果たした、斬新すぎる選挙戦略
申 瑛楽教授 / ジェンダー研究所
 - 2020年12月9日 パリリカル サイエンス研究所
国際社会を生き抜く「英語力」×「非認知能力」の礎となる幼児教育 お茶の水女子大学 浜野教授・インターニュー
浜野 隆教授 / 基幹研究院 人間科学系
 - 2020年12月23日 TOKYO WEB HEADLINE
昆虫食事業が世界の食糧不足と日本の未来を救う! 全国から研究・教育機関が集結しプロジェクト始動
由良 敬教授 / 基幹研究院 自然科学系
 - 2020年12月24日 PRTIMES
2021年1月12日(火) Reshape the World-女性起業家たちが世界を変えるオンラインカンファレンス開催
 - 2021年2月12日 SHIBUYA QWS
新しいことに挑戦したい女性へのメッセージ~何をすればよいのか? ~QWSアカデミア
横田 響子さん / 卒業生 / 文教育学部 教育学科
お茶の水女子大学客員准教授
株式会社コラボラボ 代表取締役
 - 2021年2月15日 JILICOM
【巣ごもり中の「STEM教育」の一環にも】「1日1ページで身につくイラストでわかる 科学の教養365」身近なキモノから子どもの科学的好奇心・探求心を育む!
千葉 和義教授 / 基幹研究院 自然科学系
サイエンス&エデュケーションセンター長

- 2020年11月8日 VOGUE JAPAN
小泉進次郎環境大臣とZ世代のアクティビストら が、地球の未来を語る!
VOGUE FASHION'S NIGHT IN 2020
根岸 杏実さん / 附属高等学校

- 教職員**
- 日本食品科学工学会 論文賞 (Food Science and Technology Research Award)
基幹研究院 自然科学系 村田 容常教授
 - 国際会議IEEE Pacific Visualization2020 Honorable Mention Award 受賞
基幹研究院 自然科学系 伊藤 貴之教授
 - 第25回 日本女性科学者の会 功労賞
基幹研究院 自然科学系 森 義仁教授
 - 第9回 新化学技術研究奨励賞 受賞
基幹研究院 自然科学系 毛内 拓助教授
 - 公益社団法人日本女子体育連盟主催 令和2年度JAPW研究奨励賞
基幹研究院 人文科学系 福本 まあや助教
 - 第74回 毎日出版文化賞 特別賞
徳丸吉彦著『ものがたり日本音楽史』(岩波書店) 名誉教授 徳丸 吉彦名誉教授
近藤謙著『ものがたり西洋音楽史』(岩波書店) 近藤 謙名誉教授
 - 秋の叙勲 瑞宝中級章
石丸 昭二名誉教授
サイエンス&エデュケーションセンター 岸本 健雄客員教授
 - 東京消防庁 令和2年秋の火災予防運動 表彰
基幹研究院 自然科学系 矢島 知子教授
お茶の水女子大学自衛消防隊
 - 第58回 全国大学保健管理研究会 (京都大学主催) 優秀課題賞
保健管理センター 山崎 恵看護師
保健管理センター所長 本田 善一郎教授
 - 第20回 人文地理学会 学会賞(論文部門)
グローバルリサーチ研究所 特別研究員 (みがかずび研究員) 佐藤 香寿美さん
 - 日本英語学会 第38回 大会 大会優秀発表賞(佳作)
基幹研究院 リサーチフォロー 松田 麻子さん
 - 令和2年度社会教育功労者表彰
鷹野 光名誉教授

- 学生**
- 情報処理学会 第82回 全国大会 大会優秀賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 黒田 慧莉さん
 - 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 2020年度 未踏ターゲット事業 「アーニリングマシンを用いた配送計画最適化技術の開発応用・実用化特 採択
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 大石 美賀さん 松本 奈紗さん
 - 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 2020年度 未踏ターゲット事業 「中学・高校向け統合スケジューリングシステム」 通常特 採択
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 向井 かのんさん
理学部 情報科学科4年 折田 祐希美さん
 - 2020年度 日本保育学会 大会発表部門 研究奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 人間発達科学専攻 保育・児童学領域2年 松田 こずえさん
 - 2020年度 日本保育学会 論文部門 研究奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 人間発達科学専攻 社会学・社会政策領域3年 小林 佳美さん

- xSIG2020 Outstanding Master's Student Award The 4th cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース2年 高崎 智香子さん
- 日本油化学会 第59回 年会 ショートプレゼンテーション賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 化学・生物化学コース2年 石塚 陽奈子さん
- 日本油化学会 第59回 年会 学生奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 化学・生物化学コース1年 飯島 紗生さん
- 情報処理学会 DICOM2020 論文発表 優秀論文賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 松本 朱倫さん
- The 28th Japanese/Korean Linguistics Conference The Japan Foundation Best Student Paper Prize
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 比較社会文化学専攻 英語圏・仏語圏言語文化学コース2年 望月 梨帆さん
- 2020アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 一般カテゴリー・インタラクティブアート部門入賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 理学専攻 情報科学領域1年 石井 綾都さん
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 情報科学コース2年 福島 真花さん
- 第18回 日本機能性食品医学用学会総会 優秀課題賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学領域2年 岩島 知未さん
- 日本マイコキシ学会 第86回 学術講演会 ベストプレゼンテーション賞(学生の部)
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース1年 岸本 真濃さん
- 公益財団法人徳川記念財団 第18回 徳川奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 比較社会文化学専攻3年 寺内 由佳さん
- 横浜ダンスコレクションコンペティションII 新人振付家部門・最優秀新人賞
大学院人間文化創成科学研究科 文教育学部 芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース4年 女屋 鈴音さん

- 附属学校**
- 第36回 成田山全国読書大会 推薦日輪賞
附属高等学校2年 岩元 美帆さん 田中 羽美さん
附属高等学校3年 亀岡 瞳子さん
 - 日本経済新聞社 第20回 日経STOCKリーグ 敢闘賞「SDGs×NUDGE ~企業から消費者、そして社会への循環へ~」
附属高等学校 2年 川崎 史緒さん 鈴木 愛乃さん 関 夏佳さん 船越 美香さん
 - Mono-Coto Innovation 2020 第1位
附属高等学校1年 入山 曜暉さん
 - Mono-Coto Innovation 2020 第2位
附属高等学校1年 岡崎 沙和子さん
 - 第26回 日本音楽合奏コンテスト予選審査会 高等学校A部門 優秀賞
附属高等学校 吹奏楽部
 - 中央大学 第20回 高校生地球環境論文賞 優秀賞
附属高等学校2年 尾上 愛美さん
 - 中央大学 第20回 高校生地球環境論文賞 入選
附属高等学校1年 阿部 菜乃華さん 川野 結子さん 森脇 花楓さん
 - 藤原ナチュラリストリトラー振興財団 第7回 中学生・高校生フォトコンテスト 最優秀賞
附属高等学校2年 白武 璃子さん
 - 藤原ナチュラリストリトラー振興財団 第7回 中学生・高校生フォトコンテスト 佳作
附属高等学校2年 尾上 愛美さん
 - 生物科学学会連合 第二回 生きものつばきフォトコンテスト 優秀賞
附属高等学校2年 尾上 愛美さん 田附 紗夕さん 永野 英隆さん 渡辺 菜月さん
 - 株式会社旺文社 第64回 全国書芸サイエンスコンクール読書感想文部門 高校生の部 努力賞
附属高等学校2年 尾上 愛美さん
 - 東京工業大学 第13回 高校生バイオコン 優勝
 - 東京工業大学 第14回 バイオものコン 優勝・社会貢献賞
附属高等学校2年 永住 野ひなたさん 川端 佑果さん 田附 紗夕さん 森中 花音さん 吉川 美輝さん
 - 東京工業大学 第14回 バイオものコン 審査員特別賞
附属高等学校2年 和氣 友里恵さん 小林 未来さん 齋沢 葉子さん 日比 真実さん 松平 莉奈さん 元谷 美沙希さん 由良 水沙さん
 - 情報処理学会 第82回 全国大会 大会奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース修了 パナソニック株式会社勤務 小笠原 萌さん
 - SemEval2021「語彙の複雑さの推定」の2つの共有タスクにて世界7位・8位獲得
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 田屋 希希さん
文理融合AI・データサイエンスセンター Knashiro Pereira特任助教
基幹研究院 自然科学系 小林 一郎教授
 - 日本食品科学工学会 論文賞 (Food Science and Technology Research Award)
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース修了 永井 千恵莉さん
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学領域修了 野田 響子さん
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース修了 富田 裕子さん
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース2年 桐原 明里さん

その他

- 主要行事予定 2021年度**
- 4月 1日 TOEFL ITPテスト
 - 4月 4日 入学式
新入生オリエンテーション(〜6日)
 - 4月 17日 大学院オープンキャンパス
 - 4月 19日 1学期・前期授業開始
 - 5月 12日 名誉教授懇談会
 - 5月 31日 開学記念日
 - 6月 11日 2学期授業開始
 - 6月 30日 理・生編入試験日
 - 7月 8日 理・生編入試験合格発表
 - 7月 10日 名誉学友贈呈式
学部オープンキャンパス(〜11日)
 - 7月 22日 通常授業開講
 - 7月 31日 夏期休業始
 - 8月 10日 夏季一斉休業(〜16日)
 - 8月 19日 博士前期課程8月入試
生活工学共同専攻8月入試(〜20日)
 - 8月 27日 博士前期課程8月入試合格発表
生活工学共同専攻8月入試合格発表
 - 9月 5日 博士前期課程9月入試(〜6日)
 - 9月 6日 博士後期課程9月入試
 - 9月 10日 博士前期課程9月入試合格発表
博士後期課程9月入試合格発表

- 9月 25日 新フンポルト入試プレゼミナール
- 9月 30日 9月卒業式 / 夏期休業終
- 10月 1日 10月入学式 / 3学期・後学期授業開始
新フンポルト入試(文系)1次試験合格発表
- 10月 2日 文・生編入1次試験
- 10月 7日 文・生編入1次試験合格発表
- 10月 16日 新フンポルト入試(文系)2次試験(〜17日)
- 10月 27日 文・生編入2次試験
- 11月 1日 新フンポルト入試(文系)合格発表
- 11月 2日 総合防災訓練
- 11月 3日 通常授業開講
- 11月 11日 文・生編入合格発表
- 11月 12日 徽言祭準備
学校推薦型選抜等
新フンポルト入試(理系)1次合格発表
休講日(〜13日)
- 11月 13日 徽言祭(〜14日)
- 11月 22日 永年勤続者表彰式 / 4学期授業開始
- 11月 24日 奨学金授与式
- 11月 27日 学校推薦型選抜等、
新フンポルト入試(理系)2次試験(〜28日)
- 11月 29日 創立記念日
- 12月 9日 学校推薦型選抜等
新フンポルト入試(理系)合格発表
冬期休業始
1月 7日 冬期休業終
1月 15日 大学入学共通テスト(〜16日)
- 1月 22日 大学入学共通テスト(追試)(〜23日)
- 1月 26日 TOEFL ITPテスト / 春期休業始
- 2月 2日 博士前期課程2月入試
生活工学共同専攻2月入試(〜3日)
- 2月 10日 博士前期課程2月入試・
生活工学共同専攻2月入試合格発表
2月 25日 学部入試日(前期)(〜26日)
- 3月 3日 博士後期課程3月入試(〜4日)
- 3月 9日 全学送別会 / 学部入試(前期)合格発表
- 3月 10日 博士後期課程3月入試合格発表
- 3月 12日 学部入試日(後期)
- 3月 20日 学部入試(後期)合格発表
- 3月 23日 卒業式
- 3月 31日 永年勤続者表彰式
春期休業終

- 卒業生**
- 情報処理学会 第82回 全国大会 大会奨励賞
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース修了 パナソニック株式会社勤務 小笠原 萌さん
 - SemEval2021「語彙の複雑さの推定」の2つの共有タスクにて世界7位・8位獲得
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻 情報科学コース1年 田屋 希希さん
文理融合AI・データサイエンスセンター Knashiro Pereira特任助教
基幹研究院 自然科学系 小林 一郎教授
 - 日本食品科学工学会 論文賞 (Food Science and Technology Research Award)
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース修了 永井 千恵莉さん
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士後期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学領域修了 野田 響子さん
卒業生 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース修了 富田 裕子さん
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース2年 桐原 明里さん

※2021年3月27日時点。
予定が変更になることがあります。



お茶の水女子大学学報 第267号

▽発行日:2021年4月2日

▽発行:国立大学法人お茶の水女子大学
東京都文京区大塚2-1-1 (〒112-8610)

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報企画担当

電話: 03-5978-5105

F A X: 03-5978-5545

E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

U R L: <http://www.ocha.ac.jp/>

本誌、お茶の水女子大学学報「GAZETTE」は、
本学ホームページにも掲載していますので、
どうぞご覧ください。